



## 安全データシート

Copyright, 2020, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	11-9296-2	版	12.02
発行日	2021/10/27	前発行日	2020/12/03

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

### 1. 化学品及び会社情報

#### 化学品の名称

スコッチ・ブライト (TM) ツイスト 中性トイレ浴室クリーナー

#### 3M スtockナンバー

JN-3301-1499-0

#### 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	コマーシャルソリューション技術部
電話番号	042-779-2176

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

引火性液体： 区分3

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性： 区分1

皮膚腐食性及び皮膚刺激性： 区分2

水生環境有害性（急性）： 区分1

水生環境有害性（長期間）： 区分2

#### GHSラベル要素

##### 注意喚起語

危険

##### シンボル

炎 腐食性 環境

##### ピクトグラム



#### 危険有害性情報

H226	引火性液体及び蒸気。
H318	重篤な眼の損傷。
H315	皮膚刺激
H400	水生生物に極めて有毒。
H411	長期継続的影響により水生生物に毒性。

#### 注意書き

##### 一般：

P102	子供の手の届かないところに置くこと。
P103	使用前にラベルを確認すること。
P101	医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルを持っていくこと。

#### 安全対策

P210A	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P240B	容器を接地しアースを取る。
P242A	火花を発生させない工具を使用すること。
P243A	静電気放電に対する措置を講ずること。
P241	防爆構造の照明、換気、電気装置を用いること。
P280A	保護眼鏡／保護面を着用すること。
P264	取扱後は、手指をよく洗うこと。
P273	環境への放出を避けること。

#### 応急措置

P303 + P361 + P353A	皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P310	直ちに医師に連絡すること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P321	特別な処置が必要である（このラベルの補足的な応急措置の説明を見よ）。
P370 + P378G	火災の場合：可燃性液体用の消火剤（粉末消火剤または炭酸ガスなど）を使用すること。
P391	漏出物を回収すること。

#### 廃棄

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

### 3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
水	7732-18-5	25 - 35
α-ヒドロω-ヒドロキシ-ポリ (オキシ-1, 2-エタンジール)	25322-68-3	15 - 25
オレイルジメチルアミンオキシド	14351-50-9	10 - 20
2-(2-エチルヘキシルオキシ)エ タノール	1559-35-9	1 - 10
2-メトキシメチルエトキシプロパノ ール	34590-94-8	1 - 10
ジメチルテトラデシルアミンオキサ イド	3332-27-2	1 - 10
エタノール	64-17-5	1 - 10
グリセリン	56-81-5	1 - 10
ジアルキル (C8~C10) ジメチル アンモニウムクロライド	68424-95-3	0.1 - 1
タートラジン	1934-21-0	< 1

## 4. 応急措置

### 応急措置

#### 吸入した場合

新鮮な空気的环境中に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

#### 皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

#### 眼に入った場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医療機関を受診する。

#### 飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

#### 予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

#### 応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

火災の場合：可燃性液体用の消火剤（粉末消火剤または炭酸ガスなど）を使用すること。

### 使ってはならない消火剤

情報なし。

### 特有の危険有害性

火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

### 消火作業者の保護

水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。 ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域より退避させること。 熱/火花/裸火/高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。 火花を発生させない工具を使用すること。 新鮮な空気での場所を換気する。 大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。 警告！モーターは着火源になる。漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。 物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

### 環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。 大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。 アルコールやアセトンのような水溶性溶剤に適した泡消火薬剤で漏洩箇所を覆う。 ベントナイト、パーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。 吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。 出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。 金属製の容器に収納する。 水で残さを清浄する。 容器を密封する。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。(注) 製品説明書に記載した方法で、専用のディスペンサーを使用して稀釈して使用する場合は、容器の接地及び静電靴又は導電靴の着用は不要。 熱/火花/裸火/高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。 火花を発生させない工具を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 眼、皮膚、衣類につけないこと。 この製品を使用する時には、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱後は手指をよく洗うこと。 環境への放出を避けること。 酸化剤との接触を避ける(塩素、クロム酸等)。 静電気帯電防止靴あるいは適切にアースした靴を着用する。 着火の危険を最小限にするために、この製品を使用する作業のために適切な電气的分類を決定し、引火性気体の蓄積を避けるために、特定の局所排気装置を選定してください。 輸送中に静電気蓄積の可能性がある場合、容器を接地し、アースを取ること。 蒸気が地上や床をはって着火源に流れ、遠距離引火することがある。

### 保管

換気の良い場所で保管する。涼しいところに置くこと。 容器をしっかりと密閉しておくこと。 日光から遮断すること。 熱から離して保管する。 酸から離して保管する。 酸化剤から離して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

## 管理項目

### 許容濃度及び管理濃度

セクション 3 に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシ-ポリ (オキシ-1, 2-エタンジール)	25322-68-3	AIHA	TWA (エアロゾルとして): 10 mg/m <sup>3</sup>	
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	34590-94-8	ACGIH	TWA : 100 ppm, STEL : 150 ppm	皮膚吸収の危険性。
エタノール	64-17-5	ACGIH	STEL : 1000 ppm	A3: 動物発がん性物質

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

CEIL : 天井値

### ばく露防止策

#### 設備対策

注意：分注器を正しく使用する限り、特別な換気は不要。 空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。 防爆換気装置を使用する。

#### 保護具

##### 眼の保護具

注意：分注器を正しく使用する限り、濃縮物との眼の接触は、起こらないと予想される。分注器を使用しない、あるいは、事故的放出があるならば、眼あるいは顔面保護具を着用する。 ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨します。

全面マスク

間接式換気ゴーグル

##### 皮膚及び身体の保護具

注意：分注器を正しく使用する限り、濃縮液が皮膚に接触することは予想されない。 ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。 注意：分注器を正しく使用する限り、濃縮物との皮膚接触は、起こらないと予想される。 注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質：樹脂ラミネート。

##### 呼吸用保護具

注意：分注器を正しく使用する限り、呼吸保護具は不要。 ばく露状況評価で吸入保護具が必要と判断された場合には、吸入防止手順に従って、以下のものから呼吸保護具を選択する。

有機ガス及び微粒子用半面形あるいは全面形防毒・防じんマスク。

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状態:	水溶性液体
色	赤色
臭い	ミント
臭いの閾値	データはない。
pH	8.2
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	データはない。
引火点	42.6 °C [試験方法: クローズドカップ法]
蒸発速度	データはない。
引火性 (固体、ガス)	適用しない。
燃焼点 (下限)	データはない。
燃焼点 (上限)	データはない。
蒸気圧	データはない。
蒸気密度/相対蒸気密度	データはない。
密度	データはない。
比重	0.99 [参照基準: 水=1]
溶解度	完全に溶解する
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	20 mPa-s
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	データはない。
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	データはない。

### ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

## 10. 安定性及び反応性

### 反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

### 化学的安定性

安定。

### 危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

#### 避けるべき条件

熱。  
火花ないし炎

#### 混触危険物質

強酸  
強酸化性物質

#### 危険有害な分解物

##### 物質

炭化水素類  
一酸化炭素  
二酸化炭素

##### 条件

特段の規定はない。  
特段の規定はない。  
特段の規定はない。

## 11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

#### 毒性学的影響に関する情報

##### ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

##### 眼に入った場合

化学物質による眼の葉傷（化学性腐蝕）： 角膜のかすみ、化学熱傷、痛み、催涙、潰瘍、視力障害又は視力損失などの症状。

##### 皮膚に付着した場合

皮膚刺激： 発赤、腫脹、かゆみ、乾燥、水疱、ひび、痛みなどの症状。

##### 吸入した場合

気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。

##### 飲み込んだ場合

飲み込むと、健康障害を起こすことがある。 胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

#### 追加情報

この製品はエタノールを含有する。アルコール飲料およびそれらに含有するエタノールは、IARCの調査でヒトに発がん性があると報告されている。またアルコール飲料には発生毒性および肝毒性がある。本製品の通常使用においては発がん、発生毒性、肝毒性の発現は予想されない。

#### 毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い場合があります。

## 急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	吸入—粉塵/ ミスト(4時間)		利用できるデータが無い: ATEで計算。12.5 mg/l
製品全体	経口摂取		データ無し: 計算された急性毒性推定値2,000 - 5,000 mg/kg
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシ-ポリ (オキシ-1, 2-エタンジイル)	皮膚	ウサギ	LD50 > 20,000 mg/kg
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシ-ポリ (オキシ-1, 2-エタンジイル)	経口摂取	ラット	LD50 32,770 mg/kg
オレイルジメチルアミノオキシド	経口摂取		LD50 推定値 300 - 2,000 mg/kg
ジメチルテトラデシルアミノオキサイド	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ジメチルテトラデシルアミノオキサイド	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
グリセリン	皮膚	ウサギ	LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
グリセリン	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	皮膚	ウサギ	LD50 > 19,000 mg/kg
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	吸入—粉塵/ ミスト(4時間)	ラット	LC50 > 50 mg/l
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	経口摂取	ラット	LD50 5,180 mg/kg
エタノール	皮膚	ウサギ	LD50 > 15,800 mg/kg
エタノール	吸入—蒸気 (4時間)	ラット	LC50 124.7 mg/l
エタノール	経口摂取	ラット	LD50 17,800 mg/kg
2-(2-エチルヘキシルオキシ) エタノール	皮膚	ウサギ	LD50 2,120 mg/kg
2-(2-エチルヘキシルオキシ) エタノール	経口摂取	ラット	LD50 3,080 mg/kg
ジアルキル (C8~C10) ジメチルアンモニウムクロライド	皮膚	ウサギ	LD50 645 mg/kg
ジアルキル (C8~C10) ジメチルアンモニウムクロライド	経口摂取	ラット	LD50 366 mg/kg

ATE=推定急性毒性

## 皮膚腐食性及び皮膚刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシ-ポリ (オキシ-1, 2-エタンジイル)	ウサギ	わずかな刺激
グリセリン	ウサギ	刺激性なし
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	ヒト及び動物	刺激性なし
エタノール	ウサギ	刺激性なし

## 眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシ-ポリ (オキシ-1, 2-エタンジイル)	ウサギ	軽度の刺激
グリセリン	ウサギ	刺激性なし
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	ウサギ	軽度の刺激
エタノール	ウサギ	激しい刺激

## 呼吸器感作性または皮膚感作性

## 皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
----	-----	---------

α-ヒドロ-ω-ヒドロキシ-ポリ (オキシ-1, 2-エタンジイル)	モルモット	区分されない。
グリセリン	モルモット	区分されない。
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	ヒト	区分されない。
エタノール	ヒト	区分されない。

### 呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

### 生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシ-ポリ (オキシ-1, 2-エタンジイル)	In vitro	変異原性なし
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシ-ポリ (オキシ-1, 2-エタンジイル)	In vivo	変異原性なし
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	In vitro	変異原性なし
エタノール	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
エタノール	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。

### 発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシ-ポリ (オキシ-1, 2-エタンジイル)	経口摂取	ラット	発がん性なし
グリセリン	経口摂取	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
エタノール	経口摂取	多種類の動物種	陽性データはあるが、分類には不十分。

### 生殖毒性

#### 生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシ-ポリ (オキシ-1, 2-エタンジイル)	経口摂取	雌について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 1,125 mg/kg/day	妊娠期間中
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシ-ポリ (オキシ-1, 2-エタンジイル)	経口摂取	雄について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 5699 +/- 1341 mg/kg/day	5日
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシ-ポリ (オキシ-1, 2-エタンジイル)	特段の規定はない。	生殖・発生毒性の分類外		NOEL 該当なし。	
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシ-ポリ (オキシ-1, 2-エタンジイル)	経口摂取	発生毒性は区分されない	マウス	NOAEL 562 mg/animal/day	妊娠期間中
グリセリン	経口摂取	雌について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg/day	2世代
グリセリン	経口摂取	雄について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg/day	2世代
グリセリン	経口摂取	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg/day	2世代
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	吸入した場合	発生毒性は区分されない	多種類の動物種	NOAEL 1.82 mg/l	器官発生期
エタノール	吸入した場合	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 38 mg/l	妊娠期間中
エタノール	経口摂取	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 5,200	交配前およ

				mg/kg/day	び妊娠中。
--	--	--	--	-----------	-------

## 標的臓器

## 特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
α-ヒドロxy-β-ヒドロキシポリ (オキシ-1, 2-エタンジール)	吸入した場合	呼吸器への刺激	区分されない。	ラット	NOAEL 1,008 mg/l	2 週
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	皮膚	中枢神経系の抑制	区分されない。	ウサギ	NOAEL 2,850 mg/kg	
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	吸入した場合	中枢神経系の抑制	区分されない。	ラット	LOAEL 3.07 mg/l	7 時間
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	経口摂取	中枢神経系の抑制	区分されない。	ラット	LOAEL 5,000 mg/kg	
エタノール	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	LOAEL 9.4 mg/l	非該当
エタノール	吸入した場合	中枢神経系の抑制	区分されない。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	
エタノール	経口摂取	中枢神経系の抑制	区分されない。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	
エタノール	経口摂取	腎臓および膀胱	区分されない。	イヌ	NOAEL 3,000 mg/kg	

## 特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
α-ヒドロxy-β-ヒドロキシポリ (オキシ-1, 2-エタンジール)	吸入した場合	呼吸器系	区分されない。	ラット	NOAEL 1,008 mg/l	2 週
α-ヒドロxy-β-ヒドロキシポリ (オキシ-1, 2-エタンジール)	経口摂取	腎臓および膀胱   心臓   内分泌系   造血器系   肝臓   神経系	区分されない。	ラット	NOAEL 5,640 mg/kg/day	13 週
グリセリン	吸入した場合	呼吸器系   心臓   肝臓   腎臓および膀胱	区分されない。	ラット	NOAEL 3.91 mg/l	14 日
グリセリン	経口摂取	内分泌系   造血器系   肝臓   腎臓および膀胱	区分されない。	ラット	NOAEL 10,000 mg/kg/day	2 年
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	皮膚	腎臓および膀胱   心臓   内分泌系   造血器系   肝臓   呼吸器系	区分されない。	ウサギ	NOAEL 9,500 mg/kg/day	90 日
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	吸入した場合	心臓   造血器系   肝臓   免疫システム   神経系   眼   腎臓および膀胱	区分されない。	ラット	NOAEL 1.21 mg/l	90 日
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	経口摂取	肝臓   心臓   内分泌系   骨、歯、爪及び/又は毛髪   造血器系   免疫システム   神経系   腎臓および膀胱   呼吸器系	区分されない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	28 日
エタノール	吸入した場合	肝臓	陽性データはあるが、分類に	ウサギ	LOAEL 124	365 日

	場合		は不十分。		mg/l	
エタノール	吸入した場合	造血器系   免疫システム	区分されない。	ラット	NOAEL 25 mg/l	14 日
エタノール	経口摂取	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 8,000 mg/kg/day	4 月
エタノール	経口摂取	腎臓および膀胱	区分されない。	イヌ	NOAEL 3,000 mg/kg/day	7 日

### 吸引性呼吸器有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

## 12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

### 生態毒性

#### 水生毒性（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分1：水生生物に非常に強い毒性。

#### 水生毒性（慢性）

GHS水生環境有害性（長期間）区分2：長期継続的影響によって水生生物に毒性。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシポリ（オキシ-1, 2-エタンジイル）	25322-68-3	液状化	実験		EC50	>1,000 mg/l
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシポリ（オキシ-1, 2-エタンジイル）	25322-68-3	アトランティッククサーモン	実験	96 時間	LC50	>1,000 mg/l
オレイルジメチルアミノオキシド	14351-50-9	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	0.14 mg/l
2-（2-エチルヘキシルオキシ）エタノール	1559-35-9	ファットヘッドミノウ（魚）	推定値	96 時間	LC50	140 mg/l
2-（2-エチルヘキシルオキシ）エタノール	1559-35-9	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	198 mg/l
2-（2-エチルヘキシルオキシ）エタノール	1559-35-9	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	145 mg/l
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	34590-94-8	バクテリア	実験	18 時間	有効濃度 10%	4,168 mg/l
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	34590-94-8	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	>10,000 mg/l
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	34590-94-8	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>969 mg/l

スコッチ・ブライト (TM) ツイスト 中性トイレ浴室クリーナー

2-メトキシメチルエトキシプロパノール	34590-94-8	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	1,919 mg/l
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	34590-94-8	緑藻類	実験	72 時間	有効濃度 10%	133 mg/l
ジメチルテトラデシルアミンオキサイド	3332-27-2	緑藻類	実験	72 時間	EC50	0.18 mg/l
ジメチルテトラデシルアミンオキサイド	3332-27-2	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	2.6 mg/l
ジメチルテトラデシルアミンオキサイド	3332-27-2	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	2.4 mg/l
エタノール	64-17-5	ファットヘッド ミノウ (魚)	実験	96 時間	LC50	14,200 mg/l
エタノール	64-17-5	魚 (その他)	実験	96 時間	LC50	11,000 mg/l
エタノール	64-17-5	緑藻類	実験	72 時間	EC50	275 mg/l
エタノール	64-17-5	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	5,012 mg/l
エタノール	64-17-5	緑藻類	実験	72 時間	EC10 - 成長速度	11.5 mg/l
エタノール	64-17-5	ミジンコ	実験	10 日	NOEC	9.6 mg/l
グリセリン	56-81-5	バクテリア	実験	16 時間	NOEC	10,000 mg/l
グリセリン	56-81-5	ニジマス	実験	96 時間	LC50	54,000 mg/l
グリセリン	56-81-5	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	1,955 mg/l
ジアルキル (C8~C10) ジメチルアンモニウムクロライド	68424-95-3	ミジンコ	類似コンパウンド	48 時間	EC50	0.018 mg/l
ジアルキル (C8~C10) ジメチルアンモニウムクロライド	68424-95-3	液状化	実験	3 時間	EC50	11 mg/l
ジアルキル (C8~C10) ジメチルアンモニウムクロライド	68424-95-3	バクテリア	実験	16 時間	有効濃度 10%	0.13 mg/l
ジアルキル (C8~C10) ジメチルアンモニウムクロライド	68424-95-3	ミジンコ	類似コンパウンド	21 日	NOEC	0.01 mg/l
タートラジン	1934-21-0	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	5,707 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシポリ (オキシ-1, 2-エタンジイル)	25322-68-3	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	53 % BOD/ThBOD	OECD 301C-MITI (1)
オレイルジメチルアミノキシド	14351-50-9	推定値 生分解性	11 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	100 重量%	OECD 301A - DOC Die Away 試験
オレイルジメチルアミノキシド	14351-50-9	証拠の重み付け評価法 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	70 重量%	OECD 301C-MITI (1)
2- (2-エチルヘキシルオキシ) エタノール	1559-35-9	推定値 生分解性	20 日	生物学的酸素要求量	100 重量%	非標準的な手法
2- (2-エチルヘキシルオキシ) エタノール	1559-35-9	証拠の重み付け評価法 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	72 重量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	34590-94-8	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	75 % BOD/ThBOD	OECD 301F
ジメチルテトラデシルアミンオキサイド	3332-27-2	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	82 重量%	OECD 301D - クローズドボトル法
エタノール	64-17-5	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	89 % BOD/ThBOD	OECD 301C-MITI (1)
グリセリン	56-81-5	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	63 % BOD/ThBOD	OECD 301C-MITI (1)
ジアルキル (C8~C10) ジメチルアンモニウム	68424-95-3	類似コンパウンド 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	72 重量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素

クロライド						
タートラジン	1934-21-0	推定値 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	2 重量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素

### 生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシポリ (オキシ-1, 2-エタンジイル)	25322-68-3	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	2.3	推定値：生態濃縮係数
オレイルジメチルアミノオキシド	14351-50-9	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	950	推定値：生態濃縮係数
2-(2-エチルヘキシルオキシ)エタノール	1559-35-9	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	2.46	非標準的な手法
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	34590-94-8	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	0.0061	非標準的な手法
ジメチルテトラデシルアミノオキサイド	3332-27-2	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	4000	推定値：生態濃縮係数
エタノール	64-17-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	-0.35	非標準的な手法
グリセリン	56-81-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	-1.76	非標準的な手法
ジアルキル (C8~C10) ジメチルアンモニウムクロライド	68424-95-3	実験室 BCF-その他	60 日	生物濃縮係数	=95	非標準的な手法
タートラジン	1934-21-0	実験 BCF-Carp	42 日	生物濃縮係数	<3	非標準的な手法

### 土壌中の移動性

データはない。

### オゾン層への有害性

データはない。

## 13. 廃棄上の注意

### 廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

## 14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： 1993 その他の引火性液体

輸送分類 (IMO)：3 引火性液体

輸送分類 (IATA)：3 引火性液体

容器等級：III

### 国内規制がある場合の規制情報

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。 取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、船舶安全法などの法令の定めるところに従う。

## 15. 適用法令

### 国内法規制及び関連情報

#### 日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質（表示物質）

消防法：第四類第二石油類水溶性

船舶安全法、航空法：引火性液体類

海洋汚染防止法：環境有害物質

#### 主な法規制物質

成分	法規名		
	安衛法（表示・通知）	化管法	毒劇法
2-メトキシメチルエトキシ プロパノール	601（1-(2-メトキシ-2-メチル エトキシ)-2-プロパンジオー ル）	該当なし。	該当なし。
エタノール	61（エタノール）	該当なし。	該当なし。

## 16. その他の情報

### 改訂情報

セクション 1：担当部門名 情報修正。

セクション 4：毒性学的影響情報 情報の削除。

セクション 1 1：標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正。

セクション 1 2：成分生態毒性情報 情報修正。

セクション 1 2：残留性および分解性の情報 情報修正。

セクション 1 2：生態濃縮性情報 情報修正。

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシート（SDS）の記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。本安全データシート（SDS）の記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。

3M ジャパン グループの SDS は日本のウェブサイトから入手できます。